

設計支援委員会結果報告書

平成15年 9月設計支援委員会に付議した、下記の施設整備事業について、結果を報告します。

記

<p>事業名 (整備概要)</p>	<p>西部第4地区土地区画整理事業 土地区画整理事業により道路等の公共施設の築造を行うもの。 場所 北長瀬表町一丁目、今一丁目、今三丁目、北長瀬、中仙道、西長瀬の各一部 施工面積 49ha 道路延長 約11km 歩道延長 約8.2km 施行期間 平成7年度～平成23年度 整備事業費 約227億円 歩道の構造 車椅子用段差解消歩車道境界ブロック</p>
<p>9月25日の設計支援委員会で審議いただく前に、8月28日の審議終了後に委員の方には現地での検証をして頂いておりました。そのときのご意見もここに紹介させていただきます。</p>	
<p><現地での検証 平成15年8月28日> 段差解消歩車道境界ブロックについて (車道と歩道の境界には、ブロック等で2cm程度の段差が設けられている(視覚障害者等の安全確保のため)が、そのブロックに凹部(段差のない状態)をつくり、車椅子・ベビーカー等の通行に配慮しようというものです)</p>	
<p>設計支援委員からの意見</p> <p>(委員) 点字誘導ブロックの法線上に段差解消ブロックは不要と思われる。車道側に一箇所あればよいのではないかと。 凸部の幅が広すぎて(38cm)タイヤがあたる(車椅子の車幅と合わない)。 凸部を20cm、凸部をはさむ形で凹部を25cmぐらいにするのがちょうどいいのではないかとと思われる。 凸部を水色(蛍光色)で着色したらわかりやすい。色については市で統一してほしい。</p>	<p>具体化の結果・状況</p> <p>わかりました。</p>
<p>点字ブロックについて</p>	
<p>(委員) ライン式の点字ブロックはだんだんすり減ってしまうので、通常の点字ブロックがよい。また、警戒ブロックは境界ブロックに接するぐらいに配置してほしい。 横断歩道上にはSコートゾーンを設置してほしい。</p>	<p>わかりました。</p>
<p>植樹帯について</p>	
<p>(委員) 植樹ブロックは歩道面より高くしてほしい。</p>	<p>舗装面より5cm上げます。</p>

ポストコーンについて	
(委員) 歩道巻き込み部及び出入口部にはポストコーンを設置して、車両が入らないようにしてほしい。 間隔は1～1.5m程度。	わかりました。
グレーチング(道路側溝のフタなどに使う鋼材を格子状に溶接したもの)について	
(委員) グレーチングの目は細目にしてほしい。 杖が入ってしまったら、車椅子のタイヤが入り込んでしまう。	わかりました。
<平成15年9月25日設計支援委員会> 段差解消歩車道境界ブロックについて別紙資料にもとづき説明 車椅子がまたぐ凸部 20cm タイヤの通る凹部 25cm	
設計支援委員からの意見	具体化の結果・状況
(委員) ベビーカーのタイヤ幅を確認したら小さいもので21cm、大きいもので26cmだったので、これでよいと思う。	ありがとうございます。
(委員) 凹凸の端部は丸くしておいてください。	わかりました。
(委員) 凸部の色について統一してほしい。	埼玉県熊谷市が水色を採用しており、西部西部第4地区についても、水色を考えている。
(委員) 私たちも別の機会でこの話ができれば水色を推奨します。	よろしく願います。